

別添2 「三重県高齢者等の移動手段の確保等に向けた地域モデル事業」の各取組

県内4市町の先駆的な取組を令和2年度における地域モデル事業として選定しました！

桑名市次世代モビリティ推進事業(桑名市) 〔次世代モビリティ等活用〕

<現状・課題>

大山田地域は、高齢化や今後のバスの運転士不足などの課題を抱え、生活路線の維持が必要である状況。

<取組内容>

・同地域において、特に維持確保が必要な既存バス路線の一部を自動運転バスの実証実験における走行ルートとし、現在バスを運転している運転手等による実証実験を行うことで、現在のバス運行の将来的な代替手段としての自動運転バスの可能性や導入に当たっての課題について検証。

・実証実験を通して、地域における自動運転バスの受容性やニーズについても把握。

・実証実験時期：令和2年9月(予定)

<ポイント>

・高齢化等への対応として、自動運転バス導入に向けた実証実験の実施。



寝屋子の島 答志島高齢者等移動手段確保事業(鳥羽市) 〔福祉分野等との連携〕

<現状・課題>

・答志島では、人口減少や後継者不足により閉店する店が多くなる一方で、高齢化により自家用車を運転できる住民が少なくなり、また公共交通機関もない状況。

・答志和具地区の民間医療機関が令和2年3月末で閉院となったことにより、移動手段を持たない高齢者が島内唯一の桃取地区の診療所に通院することが必要な状況。

<取組内容>

・地元町内会(予定)が市の公用車による移送を行い、島内の移動手段を持たない住民の通院など移動需要に対応。

・実証実験期間：令和2年7月～令和3年2月(予定)

<ポイント>

・市の健康福祉分野が町内会(予定)と連携し、公用車による移送を行い、高齢者の島内唯一の桃取診療所への通院などの移動需要に対応。



紀北町新交通システム実証事業(紀北町) 〔次世代モビリティ等活用、福祉分野等との連携〕

<現状・課題>

町内にタクシー事業者がないため、町が運行主体となり、公用車(軽自動車)を使用してドアツードアのデマンド運送(町内全域)を実施している状況。

<取組内容>

・現状に加え、AI配車システムを導入することにより、効率的な運行の実現と将来的な運行数の増加に対応。

・観光客等が利用しやすいようMaas等の導入も視野に入れた実証実験を行う。

・運行管理・安全管理について三重交通(株)に委託し、運転手の一部は町内の介護タクシー事業者から派遣。

・実証実験期間：令和2年6月～令和3年2月(予定)

<ポイント>

・町内の介護タクシー事業者を活用(運転手を派遣)。

・観光客等が利用しやすいよう、将来的なMaas等の導入も視野に入れた実証実験。



AI配車システムを活用した「かめやまのりあいタクシーのりかめさん」実証運行事業(亀山市) 〔次世代モビリティ等活用〕

<現状・課題>

市内全域において、デマンド型乗合タクシーを運行しており、現在は、事前登録した利用者が、前日までにタクシー事業者に電話で予約している状況。

<取組内容>

・AI配車システムを活用した予約受付及び配車を行うことにより、利用者から根強い要望のある当日の予約に柔軟に対応し、利用者の利便性を大幅に向上させるとともに、効率的なタクシー車両の運行を図る。

・実証実験期間：令和2年9月～10月(予定)

<ポイント>

・AI配車システムを活用した予約受付及び配車により、当日の予約への柔軟な対応を実現。